学校番号	216

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」実教出版						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達と保育について、受胎から乳児を中心とした学習内容を学び、親として大人としての子育て支援について実践できる態度を持ちましょう。
・保育技術検定を受検し、確実に技術を習得します。
・離乳食づくりなどさまざまな実習を通して、子どもの生活と養護の知識を獲得し、実践できる態度を育てていきます。
・親子交流実習・施設見学・認定こども園実習を通して、乳幼児の観察だけではなく、保育者のかかわりや制度を学びましょう。意欲的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見い出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり，子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して，子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	・授業プリント ・ワークシート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習製作物 ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・確認小テスト ・観察等 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	学ぶにあたって	学習の意義や内容、座学や実習の方法、評価方法の理解					a.人間の発達に関して興味・関心をもち,特に乳幼児期の発達についての概略を学ぼうとしている。 b.現代における発達観を踏まえて,自分自身が現在どのような児童観･発達観をもっているのか､客観的に分析し考察できる。 c.乳幼児に適した衣食住について､情報を収集し整理し､適切な生活の計画ができる。 d.乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している｡乳幼児に適したあそび､児童文化財について理解している。	授業プリント ワークシート 実習レポート 観察等
	子どもの発達の特性	・子どもの発達				○		
	発達と乳幼児期の意義	・乳幼児期の特徴			○	○		
	発達と保育環境	・児童観・発達観とは			○	○		
	遊びと発達	離乳食実習		○	○			
	保育技術検定の準備			○		○		
	児童文化財の作成	服部図書館　絵本の読み聞かせについて		○	○	○		授業プリント ワークシート
	保育技術検定	言語　造形 音楽リズム　看護		○	○			実習プリント ワークシート 実習レポート 実習制作物 観察等

2	子どもの生活 保育実習 子どもの安全 子どもの福祉 子育て支援について	・乳幼児の身体的特徴 ・乳幼児の生理的特徴 ・マイベイビー実習 ・保育実習 認定こども園での実習 ・チャイルドスコープ・チャイルドマウス実習 ・ポスター制作	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a.発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。 子どもの生活に関心をもち、 理解しようとしている。 b.子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方につ いて考えを深めている。 c.実習を通して、発達の観点 から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。 d.子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。 健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。	授業プリント ワークシート 実習レポート 観察等

		・地域の子育て支援センター訪問 ・地域の親子さんを招いての交流（1） ・校外イベント等参加 ・たかつき幼稚園フェア ・ナインフェスタ ・親子運動会ボランティア		○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○		a.子育て支援に関わる法律・制度・機関等について関心をもっている。子どもの発達の特徴について、意欲的に理解しようとしている。 b.子どもを健やかに育てていくためには、具体的な施策が必要であることがわかり、今後の施策の方向性などを判断することができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察している。	
	保育技術検定3級	言語　造形			○	○	c.現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決について自身で情報を収集することができる。発達の観点から、子どもの行動などを見て、特有の行動パターンや感情表出などを推察して子どもの行動を理解し、子どもとの関わり方に生かすことができる。 d.児童福祉の考え方やそれに関わる制度の知識を身に付けている。	
3	子育て支援の課題	調べ学習 レポート作成	○ ○	○		○ ○	a.子育て家庭に対する社会的支援の必要性について関心をもっている。乳幼児期における発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。 b.子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざま	

							な条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c.現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。愛着関係の重要性についての情報を整理できる。 d.子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要性や望ましい方向性について理解している。新生児期から乳児期までの身体的・生理的な発達の特徴について理解している	

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。